

2012年度 早稲田大学派遣留学 交換・TSA/ISA・ダブルディグリープログラム 後期募集要項 早稲田大学 留学センター

概要

- 今期の募集対象校の最新情報は、2012年度派遣対象留学先大学・プログラムリスト (<http://www.cie-waseda.jp/programlist/index.html>) にてご確認ください。
- オセアニア地域のプログラム、韓国の高麗大学校は、来年度前期にも募集を行います(出発は、2013年の前期となります)。

1. 交換留学(学部生、大学院生対象)

海外の協定校から留学生を受け入れ、同時に早大生を派遣する制度です。語学能力や成績などの選考条件は厳しいですが、ある程度自由に科目を履修できます。一部のプログラムをのぞいて、早大の所属学部・研究科の学費等を納めることで、派遣先の学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目の意味合いや呼び方は異なりますが、College Fee, Technology Fee, Mandatory Fee など、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。派遣人数は1-3名が通常です。多種多様な国の大学が協定校となっています。

2. TSA (Thematic Studies Abroad) プログラム(学部生対象)

「テーマに基づいた学習」を中心にカリキュラムが組み立てられます。現地大学での授業を補助する語学向上のためのサポートが多く存在するのが特徴です。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費(1学年期間10万円)を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます(注¹)。派遣人数はプログラムによって様々ですが、概して多めとなっています。(プログラムによっては2~3名くらいの場合もあり)。北米、イギリス、アイルランド、オセアニア、ヨーロッパ、中国のプログラムがあります。

3. ISA (Individualized Studies Abroad) プログラム(学部生対象)

交換留学と同様、現地大学の通常カリキュラムの中で、現地のコーディネーターと相談しながら、ある程度自由に科目を履修できるプログラムです。語学力が低い場合、語学の勉強を義務づけられる場合もあります。学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費(1学年期間10万円)を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます(注¹)。北米、イギリス、アイルランドのプログラムがあります。

4. ダブルディグリー・プログラム(学部生対象)

海外の名門大学に留学し、所定の要件を満たした場合は、早稲田大学を卒業する際に、派遣先大学の学位を取得できるプログラムです。ただし、参加者には各大学が要求する言語の高度な読解力、聴解力、会話力が要求されます。対象となる大学は、北京大学、復旦大学、国立台湾大学、シンガポール国立大学です。学費は交換留学と同様に早大の所属学部・研究科の学費等ですが、ダブルディグリー登録料(15万円)が別途必要になります。

¹ 【注意】ここでいう「学費等」とは、授業料、施設費(教育環境整備費)、実験実習料、演習料、実験演習料、学生図書室費を指しますが、実際に免除となる項目については、所属学部・研究科によって異なります。また、学生健康増進互助会費は免除の対象とはなりません。帰国後に所定の手続きにて返還請求をすることで返金されます。詳しくは帰国後、学生生活課にお問い合わせください。

出願資格：下記の（１）～（４）を満たさない場合は、自動的に出願が無効になります。

(1) 出願資格

プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍する、学業成績、人物ともに優秀な者。プログラムにより、大学院生、学部生、学年が限定されているものがあります。

(2) 語学能力（留学志望校が要求する語学能力や留学に必要な語学能力があること）

英語プログラム：要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード(Examinee Score Report, 2009 年 11 月以降に受験したもの)を提出できることが出願条件です。プログラムリストに明記されていますが、いくつかのプログラムには、TOEFL-ITP のスコアカードでも出願可能です。ただし、TOEFL の有効期限は 2 年間なので、学内選考後派遣候補大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が派遣協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、派遣予定校からの受入許可が出ない場合もあります。その場合、別の大学への出願は間に合わないので、注意してください。

非英語プログラム：派遣先大学より各種語学能力証明書の提出が求められるプログラムでは、候補者に選出された後、要求レベルを超えたスコアカードの提出が必要になりますのでご注意ください。また、教員による語学能力証明書は必ず一部提出してください。

また、一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な語学プログラム(Language Program) があります。

(3) 必要とされる GPA

プログラムによっては GPA を要求されます。Waseda-net ポータルより「成績通知書」を各自確認してください。

学内派遣選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。

この計算式は、留学センターが派遣留学学内選考用に独自に定めたものです。

$$\left\{ (4.0 \times A^* \text{取得単位数}) + (3.5 \times A \text{取得単位数}) + (3.0 \times B \text{取得単位数}) + (2.0 \times C \text{取得単位数}) + (0 \times F, G, H \text{単位数}) \right\} \\ \text{総履修単位数 (卒業算入科目として登録した単位数の合計)}$$

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。アジア太平洋研究科の学生も、「学内選考で使用する成績表記」を使用して GPA を計算してください。

評価 (素点)	アジア太平洋研究科	学内選考で使用する成績表記
100～94	A ⁺	A ⁺ (4.0)
93～90		
89～87	A	A (3.5)
86～83		
82～80		
79～75	79～75 B ⁺	B (3.0)
74～70	74～70 B	
69～60	C	C (2.0)
59～50	F	F ^{**}
49～0		G ^{**}

※F と G の範囲は各学部、研究科で異なります。H は不受験。

※ Semester 制を採用している学部以外の学部の 1 年生は、高校の英文成績証明書を提出する必要がありますので、早めに準備してください。

※学内選考時、GPA が現地大学要求のものに足りない場合でも学内選考への出願は可能です。

ただし、学内選考を通過し派遣候補者となった場合にも、最終的な受け入れ可否は現地大学の判断となることをあらかじめご理解のうえ、出願を検討してください。

(4) 留学中の必要経費の負担

留学中にかかる費用について、保証人とよく相談し、経済的な裏づけを得てから応募してください。派遣先大学への出願手続においては、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が必要となる場合もあります。学内での派遣候補者 WEB 発表後、派遣先大学へ実際に願書を送付する手続きの中で求められる場合があります。提出時期の締切が早いところでは、2012 年 1 月に設定されているプログラムもあります。留学の奨学金への申込みは、通常派遣先大学が決定してからの受付となります。

留学プログラム応募の際の注意

1) 選考種別区分と選考優先順

A. 面接必須英語プログラム

対象校： コロンビア大学（米・EX）、ペンシルバニア大学（米・ISA）、
UCバークレー（米・EX/ISA）※UCS（カリフォルニア大学群）は対象外です。
ジョージタウン大学（米・EX）、カールトンカレッジ（米・ISA）
オックスフォード大学ハートフォードカレッジ（英・ISA）
オックスフォード大学セントヒューズカレッジ（英・ISA）
ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ（英・ISA）
トロント大学（加・EX）、ブリティッシュコロンビア大学（加・EX）
シンガポール国立大学（シンガポール・ダブルディグリープログラム）
パリ政治学院の英語プログラム（仏・EX）

- ・ 面接必須英語プログラムに出願する学生は、10月15日（土）に行われるエッセイテストを必ず受験する必要があります。エッセイテストの事前予約は必要ありません。
- ・ エッセイテストの結果と GPA（3.0 以上を目安）を選考要素とし、面接試験の対象者を選考します。エッセイテストの結果によっては、面接試験に進めません。
- ・ エッセイテストと GPA による事前選考を通過した学生のみ、11月19日（土）の面接試験の対象者となります。
- ・ 面接必須英語プログラムの派遣候補者の発表は12月1日（木）に行いますが、この時点では「仮合格」と位置づけます。詳細は P.8「2. 選考の流れ」を参照してください。
- ・ 面接必須英語プログラムの「仮合格者」として選抜された学生は、ライティング強化講座（2012 年春休み期間中、全 10 回実施予定）の受講義務があります。（有料）
- ・ ライティング強化講座の詳細については P.12「4. 面接必須英語プログラムライティング強化講座」を参照してください。

B. 中国語ダブルディグリープログラム（学部生対象）

対象校： 北京大学、復旦大学、国立台湾大学

- ・ 中国語ダブルディグリープログラムに出願する学生は、10月15日（土）に行われる中国語レベル判定試験と11月19日（土）の面接試験を受ける必要があります。
- ・ 中国語レベル判定試験の結果に関わらず、基本的には全員面接試験も受験します。
- ・ 中国語ダブルディグリープログラムの派遣候補者の発表は12月1日（木）に行いますが、この時点では「仮合格」と位置づけます。詳細は P.8「2. 選考の流れ」を参照してください。
- ・ 中国語ダブルディグリープログラムの「仮合格者」として選抜された学生は、選抜後中国語ライティング講座を3月から7月にかけて受講する義務があります（有料）。詳細は、決まり次第、受講者にメールにてご連絡いたします。

C. 上記 A、B 以外のプログラムのうち非英語プログラム（半期プログラム含む）

- ・ 非英語プログラムに出願する学生は11月19日（土）の面接試験を受ける必要があります。
※非英語プログラムのうち、北京大学 TSA またはシエナ外国人大学 TSA プログラムのみを志望している場合は、面接試験の受験は必要ありません。

D. 上記 A、B 以外のプログラムのうち英語プログラム（半期プログラム含む）

- ・ 留学センターでは、筆記試験・面接試験はありませんが、所属学部・研究科での留学適性判断において各所属学部・研究科による面接が実施される場合があります。

上記 C、D における半期プログラムは、国際教養学部（SP1 学生）において必須とされている 1 年間の海外留学の条件を満たしませんので注意してください。

以上、大きく分けて A、B、C、D のプログラムから最大で第 7 志望まで選択することができます。ただし、上記 A（面接必須英語）と B（中国語 DD）については、第 1～3 志望の範囲でのみ選択可能です。また A と B を併願することも可能ですが、その場合も A と B 合計で第 1～3 志望までの間で選択してください。

C（A、B 以外の非英語プログラム）もしくは D（A、B 以外の英語プログラム）を併願する場合には、必ず A もしくは B の下位志望で選びます。

例えば、以下のような選択方法が可能です。

第 1 志望：コロンビア大学（米・交換）

第 2 志望：シンガポール国立大学（シンガポール・ダブルディグリープログラム）

第 3 志望：ペンシルバニア大学（米・ISA）

第 4 志望：ヨーク大学（英・ISA）← 注）A、B 以外の英語プログラム

ただし、ヨーク大学を第 1 志望で選択し、第 2 志望にコロンビア大学を選ぶことはできません。

また、C（A、B 以外の非英語プログラム）と D（A、B 以外の英語プログラム）を併願する場合には、非英語プログラムの選考を先に行うため、非英語プログラムを英語プログラムよりも上位志望に設定し、D をその下位志望とする場合のみ併願が可能です。※ただし、非英語の TSA プログラムのうち、北京大学 TSA プログラムまたは上海交通大学 TSA プログラムと D の英語プログラムを併願する場合にかぎり、英語プログラムを非英語プログラムよりも上位に志望することが可能です。

例えば、以下のような選択方法が可能です。

第 1 志望：コロンビア大学（米・交換）

第 2 志望：シンガポール国立大学（シンガポール・ダブルディグリープログラム）

第 3 志望：パリ政治学院のフランス語プログラム（仏・EX）

第 4 志望：ヨーク大学（英・ISA）

第 5 志望：北京大学（中・TSA）

注：北京大学 TSA と上海交通大学 TSA は D（A、B 以外の英語プログラム）よりも下位志望で選ぶことが可能です。

*ただし、ヨーク大学を第 3 で選択し、第 4 志望にパリ政治学院のフランス語で行われるプログラムを選ぶことはできません（パリ政治学院の場合、英語で行われるプログラムもあります）。

以上の条件以外には、特に制約はありません。

7 つ全て TSA プログラム、もしくは全て交換留学プログラムを選ぶことも可能です。

応募状況によっては 12 月 1 日（木）の候補者発表後に、冬募集（2 次募集）を行うことも検討していますが、必ず行うとは限りません。慎重に検討したうえ、なるべく多くの志望校を WEB 出願登録時に入力するようにしてください。ただし、今回の募集で派遣先が決定した場合、辞退して冬募集へ出願することはできません。

2) 選考方法

学業成績（GPA）、語学能力（TOEFL 等の公的試験など）、学習・研究計画書、派遣留学評価シート、所属学部・研究科での適性判断（方法は各所属箇所により異なる）、面接（面接必須英語プログラム、中国語ダブルディグリープログラム、非英語プログラム）、筆記試験（面接必須英語プログラム、中国語ダブルディグリープログラム、中国語交換プログラム）を選考要素として総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの派遣候補者に選出します。

3) 各大学、各プログラムの詳細な調査

1 つの大学で複数のプログラムが並存していることがあります。例えば、University of Washington (Seattle) には、交換と TSA のプログラムがあります。そのため、応募するプログラム自体の早大生受け入れ人数は少なくても、別プログラムでの参加学生も含めた場合に、キャンパス全体での早大生の数が多くなる場合があります。また、プログラムの選択をする際には、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。

4) 派遣先から求められる語学能力・語学プログラム

学内選考の際に TOEFL の条件を満たしていても、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、派遣先の大学の判断により、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。その際、語学コースに参加するための費用が、ISA・TSA プログラムに参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。交換留学の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早大の学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合もあります。

5) 派遣留学期間

今回募集するプログラムで留学する場合、留学期間終了の次の学期から早稲田大学に復学することが原則です（留学プログラムの延長は、原則認められていません）。また、特別な事情を除いて、プログラムにはその期間終了まで参加することが求められます。留学期間中は、原則として早稲田大学での科目履修はできません。本人の事情で途中帰国した場合には、プログラムフィー、プログラム開発・運営費、ダブルディグリー登録料、早大学費等は返金されません。

6) TSA / ISA のプログラムフィーに関して

プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円）などが含まれています（プログラムリストの“Estimated Tuition”に示されている金額）。宿舍費や食費（プログラムリストの“Estimated Room & Board”に示されている金額）、また一部の協定校では設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で派遣先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに加えて早稲田大学に納めていただく場合があります。

また、プログラムリストにある現地通貨建ての金額は、昨年度実績をベースにした目安ですので注意してください。派遣先大学の学費、為替レートの変動などに伴い、次年度には金額が上昇する場合があります。実際の納入は、大学換算レートにて日本円に換算した金額を留学センターの指定口座に送金いただきます。

※“Estimated Room & Board”の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

7) 交換留学プログラムで留学する場合の費用について

交換留学プログラムに参加する場合、一部のプログラムを除き、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払えば、派遣先大学での学費が免除されます。ただし、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Mandatory Fee 等、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は派遣先大学によって異なりますが、場合によって年間 1,000US ドルを超える負担が必要となる場合があります。特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等。詳細については、留学センターインフォメーションルーム（22 号館 3 階）でご確認ください。

8) 査証取得

査証（ビザ）は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められております。

査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き（申請）方法、必要書類（申請書等）や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく頻繁に変更されます。

なお、留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報（必要書類・手数料・申請期間等）を得るようにしてください。

また、査証取得の手続きの責任は、全て申請者の責任として委ねられていることをご理解ください。

9) 派遣先大学での科目登録・早稲田大学での単位認定

全てのプログラムにおいて、前提とされる科目（Pre-requisite）を履修していなかったり、履修人数の制限により、派遣先大学での希望の学部での履修が認められなかったり、受講を希望する科目に登録できないことがあります。

プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。

派遣先大学での取得単位がどれだけ早大での単位として認定されるかについては、各所属学部・研究科の判断に委ねられています。修業年限（学部は4年）での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。

10) 派遣候補者となった後の辞退

決定後に正当な理由なく辞退することはできません。正当な理由なく辞退した場合、それ以後の留学センター派遣留学プログラムへの応募資格が失われます。

万が一プログラムへの参加が非常に難しい状況となった場合は、なるべく早い段階で、必ず留学センターに相談してください。

11) 早稲田大学内選考と派遣先大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て派遣候補者に選ばれた皆さんは、早稲田大学から推薦された学生として、派遣先大学に応募する資格を得たこととなります。しかしながら、それは派遣先大学からの受入許可を100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、派遣先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。

また、派遣候補者に選ばれた後においても選択科目、学業不振、書類提出の締め切りを守らない場合、必要な手続きを行わない場合や、オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。留学センターからの案内には十分に注意してください。

12) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

留学センターの長期派遣留学プログラム（半期含む）に参加する学生は、いかなる理由にかかわらず本学の指定する海外旅行保険（東京海上日動火災の海外旅行保険）への加入が義務付けられています（一般的な保険料に比べ割引率が高く、12ヶ月で8万円～13万円前後/2011年度参考）。しかし、派遣先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、早稲田大学義務付け保険加入にかかわらず、必ず現地保険への加入が必要です。派遣国、派遣先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で3万円から、高額な場合だと18万円程度必要な場合があります。

*精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合（既往症）には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります。（その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます。）

*本学義務付け保険の保険料は、前年度におけるの事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、派遣手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。なお、2012年度の正式な保険料確定は12月下旬以降となる予定です。

13) 海外携帯電話レンタルサービスへの加入

留学先における日常的なリスクに対応するために、派遣学生全員へ留学センターが包括契約をする海外携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。初期設定費用、留学期間中の貸出料は、全て無料となります。お支払いいただくのは、ご本人が使用した通話料、ネット使用料および着信料*（ショートメール料金含む）となります。加入登録の際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。

*着信料は国により異なります。

14) 併願に関して

所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。ただし、留学センターへの書類提出締切日10月28日（金）までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。つまり、WEB出願の段階では併願しておいて、その後箇所間協定によるプログラムに選出された場合には、書類提出を行わずに出願を取り下げることが可能です。

15) 冬募集（2次募集）に関して

この秋募集の応募状況によっては、12月1日（木）の候補者発表以降に、冬募集（2次募集）を行う場合があります。ただし、冬募集を行う場合でも応募可能なプログラムは限られます。

16) オーストラリアのプログラムに関して

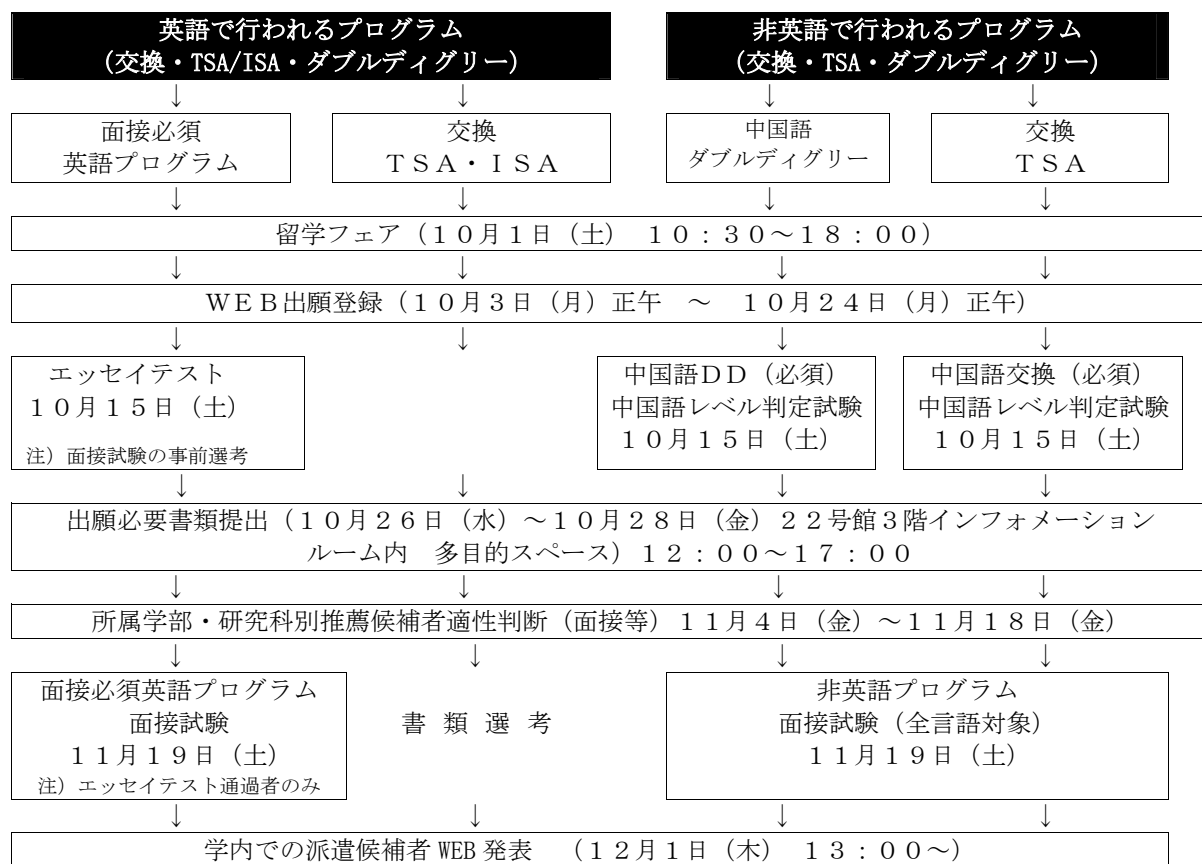
日本国籍以外のオーストラリアの留学ビザ申請*には、IELTS や TOEIC など TOEFL 以外の試験でも各協定校が要求するスコアをあらかじめ取得していることが条件となっています。したがって、協定校の要求 TOEFL スコアをクリアして早稲田学内の選考を通過し本学の派遣候補者となった場合でも、その後必ず TOEFL 以外の指定試験を受験して所定の要求スコアを取得することが必要です。指定試験の所定スコアをクリアしないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。なお、ビザ申請についての情報は予告無く頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。

*オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.immi.gov.au/>

1. 説明会・選考日程		
日程	時間	内容・会場
10月 1日 (土)	10:30～18:00	秋の留学フェア： 国際会議場1階井深大記念ホール、3階会議室
10月 3日 (月) 正午～ 10月24日 (月) ～ 正午	左記時間に注意	WEB出願登録(Waseda-net ポータルにて) ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・Web上でTOEFLスコアを入力するため、TOEFLオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) は必ずこの期間までに取得しておいてください。 ・Web上で登録されたTOEFLスコアと後日提出されるTOEFLオリジナルスコアカードに記載されたスコアが異なっていた場合、出願は無効となりますのでご注意ください。
10月15日 (土)	中国語 10:00～12:30 面接必須英語 14:00～15:00	中国語レベル判定試験 (中国語プログラム応募対象) ・ダブルディグリー、交換留学⇒ 受験必須 ・TSA, 語学初級者から応募可能な交換プログラムを希望する場合⇒受験不要 面接必須英語出願者対象エッセイテスト ・対象プログラムに出願するためには受験必須です。 WEB出願登録の締め切り前ですが、応募予定の場合は必ず受験してください。 ・エッセイテストの結果とGPA (3.0以上を目安) を選考要素として、面接試験の対象者を選考します。 場所：いずれも22号館 (教室は後日連絡)
10月21日 (金)		面接必須英語プログラム/エッセイテスト結果発表 *面接必須英語出願者にメールで連絡します。
10月26日 (水)～ 10月28日 (金)	12:00～17:00	出願必要書類受付 (早稲田キャンパス22号館3階インフォメーションルーム内多目的スペース) 注) 最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに提出するようにしてください。
11月 4日 (金)～ 11月18日 (金)	所属事務所より 後日連絡	所属学部・研究科別推薦候補者適性判断 (面接等) 内容は各所属学部・研究科によって異なります。
11月19日 (土)	後日連絡	非英語面接試験 (非英語プログラム全応募者対象※北京大学 TSA・シエナ外国人大学TSAのみの志望者は除く) 中国語ダブルディグリープログラム面接試験 英語プログラム面接試験 (面接必須英語プログラムのみ) 注) エッセイテスト通過者のみ
12月 1日 (木)	13:00～	選考結果発表 (Waseda netポータルにて)
12月16日 (金)	1回目12:15～ 2回目17:45～ (開始時間は予定)	派遣候補者決定直後オリエンテーション *必ず出席してください。当日は出欠を確認します。 (スケジュールは変更になる場合もあります。)
2012年 3月より順次	後日連絡	<input type="checkbox"/> 面接必須英語プログラム ライティング強化講座の受講 (詳細後日連絡) <input type="checkbox"/> 中国語ダブルディグリープログラム 中国語ライティング講座の受講 (詳細後日連絡)

*2011年12月～2012年6月にかけて、派遣候補先大学への出願手続きならびに派遣候補先大学での選考が行われます。

2. 選考の流れ



(注) 面接必須英語プログラムおよび中国語ダブルディグリープログラムについては、12月1日(木)の結果発表で派遣候補者を発表いたしますが、その時点では「仮合格」と位置づけます。仮合格の後、2012年春休み期間(予定)にライティング講座を受講いただき、同講座における評価と入学以降2011年度末までの所属箇所の学業成績を確認した上で総合的な判定を行います。その結果に基づき、最終的な派遣候補者を派遣予定先大学に推薦します。

3. 出願方法

1. WEB出願登録 (10月3日(月) 正午~10月24日(月) 正午)

Waseda-net ポータル (<https://www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php>) 「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB出願登録」から出願者本人が、WEB出願登録をしてください。

具体的入力が必要な下記項目①~⑤を事前に準備しておく、スムーズな出願登録手続きが行えます。

① 個人情報

- ◇ ローマ字 (半角大文字) (原則: パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記) による氏名、国籍、住所、電話番号、携帯電話、Waseda-net email address、緊急連絡先氏名と電話番号。

② 志望プログラム

- ◇ 以下の条件を満たしたうえで、最大で第7志望まで選択することができます。全てTSA、もしくは全て交換留学を選ぶことも可能です。
- ◇ 面接必須英語プログラム (面接必須英語) と中国語ダブルディグリープログラム (中国語DD) については、第1志望~3志望の範囲で選択することができます。面接必須

英語と中国語の DD を併願することも可能ですが、その場合も第 1～3 志望の中で選択します。

- ◇ 面接必須英語と中国語 DD とそれら以外のプログラムを併願する場合には、面接必須英語と中国語 DD の下位志望においてのみ選択できます。例えば、面接必須英語の対象プログラムから第 1 志望を選び、第 2 志望以下で面接必須英語以外の英語プログラムを併願できますが、その逆の志望順で併願することはできません。
- ◇ 英語プログラムと非英語プログラムを併願する場合には、非英語プログラムの選考を先に行うため、非英語プログラムを英語プログラムよりも上位志望に設定し、英語プログラムをその下位志望とする場合のみ併願が可能です。
- ◇ あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択して、「選択確定」ボタンで確定してください。同一大学で複数のプログラムがある場合がありますのでご注意ください。

③ 語学能力証明

- ◇ 英語によるプログラムに出願の場合は、希望するプログラムの要求スコアを超える TOEFL の iBT, CBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee Score Report)。TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。
- ◇ TOEFL-ITP で出願可能なプログラムのみを希望する場合には、TOEFL-ITP のスコアカードのみの提出でかまいません。ただし、iBT, CBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) が必要なプログラムも併願している場合には、両方のスコアカードが必要です。TOEFL-ITP のみの提出の場合、iBT, CBT, PBT 要求プログラムは選考対象外となります。
- ◇ 非英語によるプログラムに出願する場合は、今回募集対象となる言語種別を選択してください (複数選択も可)。ただし、教員による語学能力証明書など、必要な書類は選択した言語それぞれに必要です。
- ◇ 非英語によるプログラムに出願の場合は、語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴 (学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間) と、現在および今後の学習計画、その他語学学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。
- ◇ 該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、「a) 各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル (仏検、独検など)」をできる限り提出してください。また、その言語を指導してくれた学内教員またはその言語に堪能な「b) 教員による語学能力証明」については必ず提出してください。教員による語学能力証明は教員の方に留学センター指定の厳封用封筒 (派遣留学評価シート用と同じ) で厳封してもらった状態で留学センターに提出してください。
- ◇ 応募プログラムが、母国語のプログラムなどの理由で、語学能力証明書を提出できない場合には、その理由を証明書欄に記述して、提出してください。

④ 学習・研究計画書

- ◇ 和文と同内容を英語にて、制限字数内で記入してください。非英語プログラムのみ希望する場合は、英文による記入は不要ですので、「非英語プログラムのみに出願」と記入ください。国際教養学部の SP2 の学生で非英語プログラムのみに出願する場合は、英語で学習・研究計画書を作成してください。

※下記の表を参照して、出願プログラムに必要な言語で書かれた学習・研究計画書を提出してください。

	英語プログラム	非英語プログラム (中国語 DD 除く)	中国語 DD プログラム
国際教養学部 SP2 学生	英文	英文	英文・中文
上記以外	英文・和文	和文	和文・中文

各プログラムを併願する場合は、それぞれのプログラムで求められている和文・英文・中文いずれかの言語での学習・研究計画書を提出する必要があります。例えば、政治経済学部の学生が英語プログラムと、中国語 DD プログラムを併願する場合は英文・和文・中文の学習・研究計画書が必要となります。

注) 中文の学習・研究計画書については、WEB 出願登録ではなく、P. 12 の⑦にあるとおり、出願必要書類提出期間中に紙ベースでの提出となります。記載内容は以下の通りです。

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい。(和文・英文ともに、細かな文法的ミス等は、採点の要素とはしないので、必ず自分自身で書き上げる)。①、②、③については、出願者全員必須回答。④については、第1志望単願の場合は回答不要。複数のプログラムコードを選んでいる学生は必ず回答のこと。

- (1) 現在早稲田で学んでいること、これから学びたいことは何ですか?今まで履修した、もしくは今後履修したい科目を挙げ、その理由も含めて 300~400 字で記述しなさい。
- (2) 派遣留学を通して学びたい分野、派遣先で得たいことは何ですか?授業以外で学びたいことも含めて 300~400 字で記述しなさい。
- (3) 第1志望として選んだプログラムコードの志望理由について 300~400 字で述べなさい。
- (4) 複数のプログラムコードを選んでいる場合は、第1志望以外のプログラムコードの志望理由について、合計で 300 字~800 字で述べなさい。

英文の字数制限は、和文 300~400 字の場合、150~200 words 程度
和文 300~800 字の場合、150~400 words 程度とする。

学習・研究計画書は派遣候補先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。あらかじめご了解ください。

- ⑤ 登録完了確認、申請内容の確認メールがすぐに送信されます。(5分以内)
◇ 申請内容の確認メールの内容に間違いがないかを確認してください。

WEB 出願内容の確認に関して

志望プログラムの確認

志望プログラムに誤りがないか、十分に確認してください。同一大学でも英語プログラムと非英語プログラム、交換と TSA が実施されている場合があります。WEB 出願締め切り後の変更、修正はできません。

2. 出願必要書類提出 (10月26日(水)~10月28日(金)) 22号館3F 留学センターインフォメーションルーム内多目的ルーム(西早稲田、所沢、本庄、北九州キャンパスの学生は所属事務所に提出も可能)

志望するプログラムへの出願に際し必要となる書類を下記①~⑦を番号順に揃えて提出してください。提出書類の紙サイズは、可能な限り A4 サイズでご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いませんので注意してください。なお、提出前に、自分用の控えとしてコピーを忘れずに取ってください。

- ① 大学派遣留学プログラム誓約書 3部 (原本1部とコピー2部、両面印刷、裏面も記入)

◇ この要項に添付されているもの、もしくは留学センターの HP からダウンロードした所定の誓約書を使用し、必要事項を記入して提出してください(保証人の方の署名捺印も必要、日付けも忘れずに記入してください)。
両面印刷並びに裏面にも記入することを忘れないでください。
学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーをとり原本とともに提出してください。

② 派遣留学評価シート（原本1部、厳封）

WEB 出願締切の10月24日（月）までに1名の教員から取得してください。

- ◇ 10月24日（月）までに教員から得られず、10月26日（水）～28日（金）に提出書類として、提出できなかった場合には、選考対象外となりますので、注意してください。
- ◇ この要項に添付の派遣留学評価シートをコピー、もしくは、留学センターのHP上にある所定書式をダウンロードして使用してください。1名の教員から得てください。厳封用の封筒は必ず留学センター指定のものを使用してください。封筒は22号館3Fインフォメーションルームで配布します（西早稲田（旧大久保）、所沢、本庄、北九州キャンパスの学生は、所属事務所でも入手可能です）。
- ◇ 授業を履修している教員や、あなたのことをよく知っている教員（早稲田大学で授業を受けている先生等）に依頼をしてください。
- ◇ 国際教養学部以外の学生は、他学部の教員に依頼してもかまいません。また、非常勤講師の方でも早大で教鞭をとっていらっしゃる方であればかまいません。
* 次の科目の担当教員は対象外です。
Intensive English, Tutorial English, Academic Writing, 日本語語学科目
- ◇ 国際教養学部の学生は、学部の規定により、本評価シートを指定されているアカデミック・アドバイザー教員に依頼してください。

1. 国際教養学部にて指定されているアカデミック・アドバイザー教員：1通

* 教員に本評価シートを依頼する際には、(1) Waseda-net portal より「授業」→「進級・卒業」→「成績照会」から最新の成績をプリントアウトしたもの、(2) 前項1. ④の「学習・研究計画書」を提出してください。

* 各自に割り当てられたアカデミック・アドバイザーが不明の場合は、Waseda-net portal のお知らせで確認することができます。

* Intensive English, Tutorial English, Academic Writing, 日本語科目を担当している教員はこの範囲外です。国際教養学部専任教員の一覧は、Course N@vi で確認することができます。

* 本選考後、プログラムによっては、本評価シートとは別に派遣先機関宛の推薦状を提出する必要がある場合があります。その際も、基本的には上記のアカデミック・アドバイザー教員に依頼することになります。

③ 英文成績証明書（原本1部）

- ◇ 博士後期課程学生は修士課程・博士課程の2種類の証明書を提出してください。
- ◇ 修士課程学生は学部課程および修士課程の2種類の証明書を提出してください。交換留学プログラム応募条件の成績は修士課程以上のものを対象とします。ただし、修士1年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部の成績を対象とします。
- ◇ 学部生は、学部の証明書を提出してください。
* 国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。1年間の海外留学が必修のため、事務所経由で留学センターに提出されます。
- ◇ セメスター制を採用している学部以外の学部の1年生は、高校の英文成績証明書を提出してください。
- ◇ 自動証明書発行機から入手することができます。

④ 語学能力証明書（原本1部）

留学先の授業が英語で行われるプログラムを希望する場合：

- ◇ 応募時に TOEFL のスコアカード (Examinee Score Report / 2009年11月以降受験分) を提出してください。(A4 サイズのまま提出。切り取らないこと)
- ◇ TOEFL-ITP で出願できるいくつかのプログラムを除いては、iBT, CBT, PBT いずれかのスコアカード (Examinee Score Report) が必要です。
- ◇ TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。スコアや名前が切れないように気をつけてください。ただし、後日そのプリ

ントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。最終的にオリジナルスコアカードの提出がない場合は、無効となりますのでご注意ください。

TOEFL スコアの扱いについて

1. 各大学の要求スコアについて
各大学の要求スコアを超えるスコアを取得していることが必要です。
2. 有効期限について
2009年11月以降受験分が有効となります。
3. スコアカードは返却いたしません。
4. TOEFLの有効期限は2年間なので、派遣候補大学への出願の際、およびビザ申請に必要な書類が派遣候補大学より発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。

英語以外の言語によって行われるプログラムを希望する場合：

- ⑤ 「b) 教員による語学能力証明書」は、希望者全員必ず提出してください。
 - ◇ 評価シートで依頼した教員と同じ教員でも問題ありません。
 - ◇ 教員による語学能力証明書を提出する場合には必ず教員に留学センター指定の厳封用封筒（派遣留学評価シート用と同じ）で厳封してもらった状態で留学センターに提出してください。
- ⑥ 客観的な語学能力証明として、できる限り「a) 各種語学能力試験等公的試験等のスコアやレベルの試験結果」（仏検など）を提出してください。
 - ◇ ⑤と⑥ 両方を提出してもかまいません。
- ⑦ 中国語ダブルディグリー志望者のみ 中国語での学習・研究計画書（A4用紙 1部）
 - ◇ WEB出願時に日本語（国際教養学部のSP2学生は英語）で入力した計画書と同内容のものを中国語で作成し、A4用紙1枚で提出してください。

4. 面接必須英語プログラムライティング強化講座

2012年度 早稲田大学派遣留学 後期募集

【面接必須英語プログラムに対するライティング High Advanced 講座について】

- このページに記載されている内容は、2011年9月24日現在のものです。
- 対象校（面接必須英語プログラム）は以下のとおりです。
 - ・カールトンカレッジ（米・ISA）
 - ・コロンビア大学（米・EX）
 - ・ジョージタウン大学（米・EX）
 - ・ペンシルバニア大学（米・ISA）
 - ・UCバークレー（米・EX）※UCS（カリフォルニア大学群）は対象外です。
 - ・UCバークレー（米・ISA）
 - ・ハートフォードカレッジ オックスフォード大学（英・ISA）
 - ・セントピーターズカレッジ オックスフォード大学（英・ISA）
 - ・シンガポール国立大学（シンガポール・DD）
 - ・ペンブルックカレッジ ケンブリッジ大学（英・ISA）
 - ・パリ政治学院（仏・EX）
 - ・プリティッシュコロンビア大学（加・EX）
 - ・トロント大学（加・EX）
- 今後何らかの事由で対象プログラムやライティング High Advanced 講座の内容が変更される場合があります。その場合、変更が発生した時点での留学センターによる決定、告知内容がこのページの記載内容より優先されます。
- 詳細が決まり次第、留学センターのHP上でお知らせします。

上記のプログラムについては、参加する早大生に対して対象校から高度な英語能力が要求されていま

す。ここでの英語能力とは TOEFL スコアだけではかることができるものではなく、現地で正規学生・教員とともに授業に積極的に参加、課題に取り組み、共にアカデミックな成果を挙げることができる、総合的な英語力です。対象校からの早大生に寄せる期待と対象校のほとんどがプログラムで語学学習をサポートする授業を提供していないことを鑑み、留学センターでは対象校への派遣候補者全員に対し選考過程の一部として、2007年度よりライティング High Advanced 講座の受講を義務付けることとしました。

1. 12月1日の結果発表で対象校への派遣候補者となった方については、その時点で「仮合格」と位置付けます。仮合格の後、留学センターの指定するライティング High Advanced 講座を受講（有料）いただき、同講座における評価と入学以降2011年度末までの所属学部・研究科の学業成績を確認したうえで、3月下旬に総合判定を行い、最終的な派遣候補者を決定する予定です。本講座を受講されない場合、「仮合格」が取り消されることもありますので、ご注意ください。

2. ライティング High Advanced 講座の詳細（受講料・講座内容ほか）については留学センターのウェブサイト上で随時告知していく予定です。12月1日の結果発表で対象校への派遣候補者に選出された方は、12月16日（金）の派遣候補者決定直後オリエンテーションにて案内します。
（※現時点では、3月中の5日間を予定しています。受講必須となっている該当者の方は、必ず受講できるようスケジュール調整をしてください。なお、講座実施期間に変更があった場合は、留学センターウェブサイトで告知いたしますので、注意してください。）

5. 派遣留学特別奨学金

1. Waseda-US 奨学金

～早稲田大学創立125周年記念～

この奨学金は早稲田大学創立125周年を記念して設立された奨学金です。本学が指定するアメリカ国内の名門大学に留学センターのプログラムで留学する学生を対象とし、本学の国際競争力強化や国際社会への貢献に資する人材の養成を目的としています。

対象： 留学センターのプログラムで早稲田大学が指定するアメリカ国内の協定校へ留学する学部生・大学院生

～2012年度対象校～

- ・カールトンカレッジ（米・ISA）
- ・UCバークレー（米・ISA）
- ・ペンシルバニア大学（米・ISA）

上記対象校の派遣候補者（仮合格）として選出された後、ライティング強化講座の評価と入学以降2011年度末までの所属学部・研究科の学業成績を確認したうえで、派遣候補者として最終的に選抜された者の中から、奨学金受給者を決定いたします。（2012年6～7月に発表予定）

※上記対象校の派遣候補者（仮合格）として選抜された者は、自動的に Waseda-US 奨学金の選考対象者となりますので、本奨学金についての応募手続きは不要です。

奨学金： ・カールトンカレッジ：上限8,000ドル給付（予定）
・UCバークレー：上限8,000ドル給付（予定）
・ペンシルバニア大学：上限10,000ドル給付（予定）
（奨学金相当額を派遣先大学に直接送金する方法により給付する予定）

採用者数： 11名（予定）

※上記の実施内容は変更の可能性がありますので、最新情報を留学センターホームページで必ず確認してください。

2. 校友会海外派遣留学奨学金

- 対象：オックスフォード大学、ケンブリッジ大学において、留学センターが指定するカレッジでの留学プログラムを通して派遣される者。海外留学に対する意欲が高く、人物が優れている者。
- 人数：最大5名
- 奨学金：年間150万円（※事情により増減される場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

今回の募集における対象プログラムは、オックスフォード大学ハートフォードカレッジ (ISA)、オックスフォード大学セントピータズカレッジ (ISA)、ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ (ISA) です。

早稲田 US 奨学金および校友会海外派遣留学奨学金のスケジュールは、以下のとおりです。

日程	時間	内容・会場
12月1日(木)	13:00～	選考結果(仮合格)発表(Waseda netポータルにて)
12月中[仮]		ライティングHigh Advanced講座受講申込の告知
2012年1月中[仮]		受講証の配布・受講料のお支払 【ご参考】2011年度実施ライティング講座受講料：¥15,000/10回 *金額は昨年度実績。2012年度は講座内容に伴い金額変更する可能性があります。
春季休暇期間中に指定する5日間[仮]	2コマ/1日[仮]	全10回[仮] ライティングHigh Advanced講座 ※Waseda-US奨学金受給候補者の方はこの講座の受講が必須です。
2012年3月下旬	後日告知	2011年度末までの所属学部・研究科成績証明書提出 (留学センター宛に提出)
2012年3月下旬	後日告知	面接必須英語プログラム 派遣候補者最終決定
2012年6月～8月	後日告知	Waseda-US 奨学金・校友会海外派遣留学奨学金受給者発表

6. プログラム選択時の海外での安全情報の確認

「2011-2012 STUDY ABROAD 留学の手引き」 P20 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることに留意してください。外務省では、海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。

「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案した上で出願してください。

7. お問い合わせ先

早稲田大学留学センター

〒169-0051 新宿区西早稲田 1-7-14-3F 留学センターインフォメーションルーム

電話：03-3208-9602 FAX: 03-3203-6405

E-mail: out-cie@list.waseda.jp

開室時間は平日の12:00～17:00

電話受付時間は月～土曜の9:00～17:00

以上

WEB 出願登録は、こちらから

Waseda-net ポータル 画面



派遣留学出願登録は、この WEB 登録のほかに、出願必要書類提出が必要です。提出期間は、10月26日(水)～10月28日(金)になります。

選考結果の発表もこの画面の「〇〇さんへのお知らせ」で行います。

出願時のチェックリスト（提出は必要ありません）

WEB 出願登録（10月3日（月）正午 ～ 10月24日（月）正午）*時間厳守！

- 募集要項を見たら志望大学の選択を開始し、一度は登録画面を見てみましょう。
- Waseda-net ポータル画面にて、10月13日を目途に一度はWEB出願を試してください。
「登録」は何度でも可能です。
- プログラムリストを含め、出願前に最新情報を留学センターのHPを再確認しましたか？
- 最新の「登録」に対する「登録内容確認のメール」の内容に間違いがないかをよく確認してください。

出願期間：10月26日（水）～10月28日（金）12:00-17:00 *時間厳守！

提出場所：22号館3階留学センター・インフォメーションルーム内多目的ルーム

全員提出必須：

- ①大学派遣留学プログラム誓約書3部（原本1部、コピー2部、両面印刷）
*裏面の志望プログラムのページ含む、印鑑忘れ、署名、日付の記入に注意。
- ②教員の派遣留学評価シート1通
*留学センター指定の厳封用封筒で必ず厳封のうえ提出のこと。
- ③英文成績証明書1部
*留学がカリキュラムの一環である国際教養学部の学生は提出の必要はありません。

英語プログラムへの出願者は提出必須：

- ④TOEFL iBT, CBT, PBT のオリジナルスコアシート (Examinee Score Report)
もしくは、TOEFL-ITP のオリジナルスコアシート:1通
*iBT はインターネット上で閲覧できるスコアのプリントアウトでもかまいませんが、後日必ず同一のオリジナルスコアカードを提出してください（プリントの際、名前やスコアが切れないように注意）。
*TOEFL-ITP でも出願可能なプログラムのみに出願する場合は、TOEFL-ITP のみの提出でよいですが、iBT, CBT, PBT いずれかが必要なプログラムと併願の場合には、両方のスコアカードが必要です。

非英語プログラムへの出願者は提出必須：

- ⑤教員による語学能力証明書1通（派遣留学評価シートと同様に留学センター指定の封筒を使用して厳封）

非英語プログラムへの出願者は提出任意（できるだけ提出してください）

- ⑥出願プログラムで使用する言語の語学能力証明書（仏検、独検等、コピーでも可）
*提出必須のプログラムに出願する場合は、要求レベル以上のものを提出のこと

中国語ダブルディグリーへの出願者は提出必須

- ⑦中国語での学習・研究計画書 A4用紙：1部
WEB出願時に日本語（国際教養学部のSP2学生は英語）で入力した計画書と同内容のものを中国語で作成し、A4用紙1枚で提出してください。

①～⑦のうち、自分の志望するプログラムに提出する必要がある書類を、なるべくA4サイズに統一して、上から①～⑦の順に揃えて提出してください。